

# 全国商工新聞

## 長岡版

発行編集  
長岡民主商工会  
長岡市中沢167-1  
☎ 33-5948

2018年  
11月19日  
第1932号

寒くなりました。日に日に冬の到来が近づいていることを実感させられます。風邪が流行するこの時節、手洗いやうがいなどを行って身体を守りましょう。

# 11・25「命と健康を守る学習交流会」に向けて、助け合い、共済の輪をさらに大きく

11月25日(日)、新商連共済会主催「いのちと健康を守る学習交流会」が開催されます。長岡民商・長岡民商共済会では、この交流会までの期間に役員・事務局が会員訪問を行うなど、共済の仲間増やし活動を強化します。この機会に、まだ共済に加入されていない会員、その配偶者の皆さんに、共済加入を呼びかけます。会員どうし声を掛け合い、共済の仲間を増やしましょう。

中小業者にとって、健康はいちばんの財産ともいえます。民商の共済は営利目的ではなく、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」を合言葉とする会員どうしの助け合いを理念としています。大腸がん検診の実施や入院見舞金制度(連続3日以上入院が対象)など、いのちと健康を守る活動をしています。特に入院見舞金制度は「お見舞金がとてもありがたかった」、「共済に入っていて本当に良かった」など、見舞金を受け取った方から多くの喜びの声が寄せられています。



民商・全商連共済会  
は、中小業者が「社会保障からのけもの」にされている不安を少しでも軽く「する必要が」と努力を重ね、会員どうし助け合う組織を望む声が届く中、1984年にスタートしました。いくつもの試練を乗り越え、今では全国23万人、長岡民商には478人の仲間がいます。これまでも制度の充実に努めてきましたが、仲間が増えれば、さらに豊かな共済へと発展します。民商会員とその配偶者は加入年齢に制限はなく、健康などの条件を問わず加入することができます(裏面もご覧ください)。ぜひ加入して、助け合いの輪をさらに大きくしましょう！

## 関原支部が複数税率・インボイス学習会開催

関原支部は10月31日夜、原支部長の事業所事務所にて複数税率・インボイス学習会を開きました(参加者は8人)。

まずは、夏の役員会や支部総会でも視聴した全商連制作のDVD「教えて湖東先生！」を再び視聴、さらには商工新聞号外も活用しながら、改めて複数税率について学びました。



その後、インボイス方式(適格請求書保存方式)について学習しました。インボイス方式の最大の問題は、消費税の仕入税額控除ができるのは適格請求書の保存がある取引分のみであり、適格請求書を発行できるのは課税業者だけであるということ。課税業者は、免税業者の請求書では仕入税額控除ができなくなるため、引き続き免税業者と取引する場合、消費税納税負担額が増大します。免税業者は、取引先の課税業者から「課税業者への変更」や「控除できない消費税相当額の値引き」を求められるばかりか、「取引そのものの停止」を強いられるおそれがあります。インボイスは信頼に基づく取引関係を破壊します。班や支部で集まりを聞き、まずはインボイスの正体をつかみましょう。

## マイナンバー学習会・共済の仲間増やしなどのため午後から事務局が不在になります

左記の日はマイナンバー学習会(さいわいプラザにて)や共済の仲間増やし活動などのため、午後から事務局が不在となります。よろしくお願ひします。

- ① 11月20日(火)：マイナンバー学習会のため
- ② 11月21日(水)：年末調整説明会(長岡税務署主催)のため
- ③ 11月22日(木)：共済の仲間増やし活動のため
- ④ 12月4日(火)：新商連事務局員学習会のため